胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

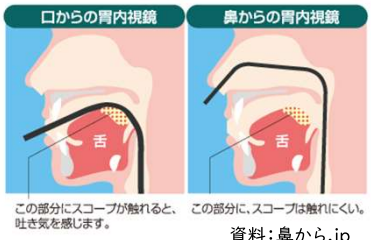
✿検診前日
食事は普通にとり、夜９時以降は禁食してください。
就寝前まで水分摂取は可能です。ただし、アルコールは摂取しないでください。

✿検診当日
①起きたら食事はとらないでください。
　ただしコップ１杯(200ml)程度の水は検診の２時間前までなら飲んでもかまいません。
②血圧や心臓のお薬は早めにお飲みください(検診の２時間前まで)。
③検査が終了するまで喫煙しないでください。(検査精度が低下する場合があります)

検診会場

問診（自覚症状・アレルギーの有無等）

☆検査の準備
内視鏡の挿入部位をお選び頂けます（鼻または口）。
ただし、鼻が狭く実施できない場合がございます。
その場合は口からに変更させて頂きます。



資料：鼻から.jp

～鼻から実施する場合～
①胃の中を見やすくするために消泡剤を飲みます
②鼻の通りをよくする薬を両方の鼻腔にふきかけます。
③時間をおいてから片方の鼻腔に液体の麻酔を注入します。
④時間をおいてから麻酔を注入した側の鼻腔に短くて柔らかいチューブを挿入します。

～口から実施する場合～
①胃の中を見やすくするために消泡剤を飲みます。
②のどに時間をおいて２回、麻酔をふきかけます。

☆検査開始
口または鼻からカメラを挿入します。
※この時、力を抜いて楽に呼吸しましょう
胃の中が見えづらい場合にカメラを通して色のついた薬を使用することがあります。
便に青っぽい色がつく場合がありますが、しばらくすると普段の色に戻ります。

☆検査終了後の注意
麻酔を使用しているので、30分～1時間程度は飲食することはできません。
鼻から行った方は鼻を強くかまないようにしてください。

異常あり

異常なし

精密検査

がん

良性疾患

異常なし

治療

主治医の指示に従ってください

次回の検診